

第2回 横浜市保土ヶ谷区地区センター 指定管理者選定委員会 会議録	
開催日時	令和8年8月28日（火） 10時00分～11時30分
開催場所	保土ヶ谷区役所 202 会議室
出席者	伊藤委員長、新田委員、樋口委員、堀委員、矢岳委員 （計5名）
欠席者	無し
開催形態	公開（傍聴者0名） ※議題3以降 非公開
議 題	1 選定委員会の進め方等について 2 応募団体によるプレゼンテーション、質疑応答 3 意見交換、評価シート記入 4 指定候補者の決定
議 事	1 選定委員会の進め方等について 事務局から、選定委員会の進め方、応募結果、評価・選定方法等について説明。 <u>＜瀬戸ヶ谷スポーツ会館／一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会＞</u> 2 応募団体によるプレゼンテーション（約15分）、質疑応答（約15分） 主な質疑応答の内容は以下のとおり ----- 委 員：施設のLED化は済んでいるのか。 応募団体：令和8年6月にLED化を実施した。照明に係る光熱水費は以前の半分程度まで削減できている。 委 員：子育てサロンへ場所提供をしているが、子育て世代の課題をどのように捉えているか。また、今後どのように取り組んでいきたいか。 応募団体：就園年齢が低下しており、未就園児向け事業の参加者確保が難しくなっている。子育てサロンの主任児童委員と相談し、施設が直接関わるのではなく子育てサロンを窓口として、安心して参加できる環境づくりを進めている。 委 員：事業の周知について苦労している点はないか。 応募団体：子育てサロンが保有するLINEを活用し、小学生向け事業も含めて積極的に周知していただいている。施設側も子育てサロン事業の周知に協力しており、相互に連携している。 委 員：利用者会議はどのような方が参加しているのか。 応募団体：利用者へ案内を配布し、毎年10人程度が参加している。複数のサークルに所属している方も多く、会議を通じて利用者の意見把握や情報共有につながっている。

	委員：利用者からはどのような要望が出ているのか。 応募団体：体育室の天井が低いこともあり、卓球台の更新要望が最も多い。現在は予算上難しいが、次期指定期間中の更新を考えている。
	委員：他施設も運営しているが、スポーツ会館は施設規模が異なるため、他施設の取組をそのまま取り入れることは難しいと思う。現在の事業はスポーツ会館独自の取組が中心なのか、それとも他施設のノウハウを生かしているのか。 応募団体：館長は以前、地区センターで副館長を務めていた。その際の運営ノウハウや事業経験を参考にしながら、スポーツ会館の規模や特性に合わせて内容を調整して実施している。
	委員：利用者の約7割が高齢者とのことだが、高齢者向けの事業が少ないように見える。どのように考えているか。 応募団体：日常利用は卓球や麻雀を中心に高齢者が多い。一方、指定事業は利用の少ない若い世代に施設を知ってもらうことを目的に実施している。まずは事業参加をきっかけに来館していただき、その後サークル利用などにつなげたいと考えている。
	委員：自主事業でも若い世代向けが中心なのか。 応募団体：高齢者利用はすでに多いことから、自主事業についても比較的若い世代を対象とした企画を行っている。
	委員：駐車場がないため、高齢者の利用が難しいのではないかと。 応募団体：血管年齢測定などの事業には多くの高齢者が参加している。そうした事業も取り入れながら、若い世代にも施設を知っていただきたいと考えている。
	委員：多世代交流の取組について伺いたい。 応募団体：小学生向け事業の際に、高齢者世代の利用者に運営補助として参加いただき、交流の機会を設けている。
	委員：サークル活動はどのような状況か。 応募団体：年間を通じて活動しているサークルは約30団体である。ウクレレ教室は指定事業からサークル活動へ発展した事例となっている。
	委員：常時1名体制での運営は大変ではないかと。 応募団体：出勤確認を毎日実施しており、緊急時には館長が30分以内に駆け付ける体制を整えている。館長が対応できない場合は事務局職員が対応する。これまで問題は発生していない。
	委員：常時2名体制とする考えはないのか。 応募団体：予算上難しい。一方で日常業務量を考えると常時2名配置は過剰とな

	る。緊急時には利用者の協力も得ながら対応する体制としている。 委員：自治会との連携はどのように行っているのか。 応募団体：南部地区連合町内会長に運営委員長をお願いしており、青少年指導員や保健活動推進員にも参加いただいている。年2回の運営委員会を通じて地域ニーズを把握している。 委員：自治会を巻き込んだ祭りやイベントは実施していないのか。 応募団体：現在のところ計画はないが、今後の参考としたい。 委員：親子サークルなど地域の交流の場として利用することは可能か。 応募団体：ぜひ活用していただきたいと考えている。子どもの成長に伴い活動継続が難しくなる面もあるが、地域の交流の場として利用してほしい。 ----- 3 意見交換、評価シート記入 (1) 応募団体の財務状況について、矢岳委員より説明。応募団体は複数の区民利用施設を運営しており、経営規模や資産状況から財務基盤は安定しているとの評価が示された。一方で、近年は収支差額がマイナスとなっている点は留意が必要であるが、施設運営の継続に支障を及ぼす状況ではないとの見解が示された。 (2) 事務局より、応募団体が応募資格を有すること及び暴力団経営支配法人等に該当しないことについて報告。 (3) 事務局より、現指定管理者の管理運営状況について説明。 (4) 提案内容について委員による意見交換を実施。 ＜主な意見＞ ・地域特性に応じた居場所づくりができており、安心感のある運営がなされている。 ・利用者会議を活用して利用者の意見を把握している点は評価できるが、緊急時の対応方法についても利用者に周知しておくとうい。 ・収支は厳しい状況にあるが、収益確保に向けた工夫を引き続き行ってほしい。 ・自治会との連携や地域との関わりがやや少なく感じられたため、地域行事や祭り等への参加・協力を進めてほしい。 ・地域の自治会は活発に活動していることから、自治会のネットワークを活用した事業展開や広報活動を期待する。 4 指定候補者の決定 各委員の評価点を集計した結果、875点満点中673点となり、最低基準点(450点)も満たしているため、<u>一般社団法人保土ヶ谷区区民利用施設協会を指定候補者として決定した。</u>
配布資料	1 選定委員会の進め方等について 2 横浜市保土ヶ谷区地区センター指定管理者選定委員会名簿 3 席次表

	4 選定委員会 当日スケジュール 5 現指定管理者運営実績、現指定管理者第三者評価シート（総括抜粋） 6 現指定管理者運営実績評価シート 8 応募書類 9 評価シート 10 確認書（応募団体との利害関係について）
--	---